1 平成22年12月13日 **町 村 週 報** (昭和29年1月30日) 第2742号 **第**2742号

田丁村道里報

(町村の購読料は会費) の中に含まれております)

2742号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号: 電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955 発行人 山中昭栄: 定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697 http://www.zck.or.jp











4 ,		
<	◆力強く生き生きとした町村の実現に向けて=941町村長の総意を結集して決議 (2	
10	・全国町村会長挨拶・来賓挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1)
	· 意見発表······(1	4)
	・有識者からの応援メッセージ	7)
	· 全国町村長大会来賓氏名····································	8)
	· 大会決議·特別決議·································	0)
	· 実行運動····································	3)

★ 全国町村長大会特集 **

・全国町村長大会意見・・・・・・・・・24 第5回国と地方の協議=藤原会長がTPPへの参加反対で意見陳述・・・・・・42

四町村長大会ひらく

第2742号

強く生き生きとした町村の実現に向け

941町村長の総意を結集して決議



議長、 幸男民主党幹事長代理、谷垣禎一 町村会関係者及び来賓の古川元久 で全国941の町村長、 午から東京・渋谷のNHKホール 自由民主党総裁、 内閣官房副長官、 して開催された。 大臣など、 全国町村長大会は12月1日、 西岡武夫参議院議長、 、 約 1、 横路孝弘衆議院 500名が出席 鈴木克昌総務副 都道府県 正

大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府大会は沙見明男副会長(京都府に対し、我々が主張していきたことの着実で実効ある施策を展開するよう強く主張していきたい。連るよう強く主張していきたい。連

た。

に呼びかけた。 携を強固なものとし、さらに頑張っていこう」と参加者

ここで町村現場の生の声を伝えるため、町村長3名に党幹事長代理、谷垣自民党総裁がそれぞれ挨拶した。町村長の皆様のご理解とご協力をお願いする」と挨拶。町村長の皆様のご理解とご協力をお願いする」と挨拶。この後、来賓挨拶に移り、内閣総理大臣代理の古川内

こ。が国の危機管理のあり方を見直すことの必要性を訴えが国の危機管理のあり方を見直すことの必要性を訴えマに、今般の尖閣諸島をめぐる領土問題を取り上げ、わはじめに佐々木功悦宮城県美里町長が国家主権をテー

よる意見発表を行った。

促進を強調した。するための国の補助制度の構築や災害に強い道路整備のわれた自身の経験に基づき、財政力の弱い自治体を救済やれた自身の経験に基づき、財政力の弱い自治体を救済次に赤塚新吾岐阜県八百津町長が今夏、集中豪雨に襲

ついて、食料生産の産業基盤と国土を守るため、TPP最後に重森計己岡山県吉備中央町長がわが国の農業に



反対するべきであると訴えた。への参加による自由化というゆゆしき政策に断固として

営委員会で決定した町村行財政をめぐる諸問題解決に向営委員会で決定した町村行財政をめぐる諸問題解決に向いて大森彌東京大学名誉教授が登壇、「田舎が都会を救して大森彌東京大学名誉教授が登壇、「田舎が都会を救して大森彌東京大学名誉教授が登壇、「田舎が都会を救い、本人出席者を紹介した。(代理を含む)であり、本人出席者を紹介した。(代理を含む)であり、本人出席者を紹介した。 この後、大会議長に小沢信義副会長(埼玉県毛呂山町この後、大会議長に小沢信義副会長(埼玉県毛呂山町この後、大会議長に小沢信義副会長(埼玉県毛呂山町この後、大会議長に小沢信義副会長(埼玉県毛呂山町社会を教育会で決定した町村行財政をめぐる諸問題解決に向営委員会で決定した町村行財政をめぐる諸問題解決に向営委員会で決定した町村行財政をめぐる諸問題解決に向

採択された。さらに36項目の大会意見も一括満場一致で採択された。さらに36項目の大会意見も一括けた9項目の決議案とTPPに関する特別決議案を付議けた9項目の決議案とTPPに関する特別決議案を付議し、古木哲夫副会長(山口県和木町長)がこれらを朗読、し、古木哲夫副会長(山口県和木町長)がこれらを朗読、し、古木哲夫副会長(山口県和木町長)がこれらを開発といいては、大会運長)を選出し、議事に入った。議案については、大会運長)を選出し、議事に入った。議案については、大会運長)を選出し、議事に入った。議案については、大会運長)を選出し、議事に入った。

報道関係者の理解と協力を求めた。 うことを決定、 実行運動方法について、 決定した事項の実現について働きかけてゆく」と述べ なってきている。 域を支えている町村の果たすべき役割はますます大きく 持つ多面的な価値の重要性が高まっている今日、 選出国会議員、政府要路に対し、 これらの決議、特別決議、大会意見を実現するための 大会終了以後の記者会見で、 民主党及び自民党に実行運動を行い、 1時50分に大会を閉会した。 今後もこのことを訴えながら、 各都道府県町村会長は大会終了 藤原会長は「農山漁村が 適宜、有効な方法で行 町村長は地元 この地

発信力を強め喫緊の課題に対応



原原 ただ彦 藤 全国町村会長

から感謝申し上げます。

設計を求めます。

財政力の弱い自治体に配慮した制度

加えて、現在検討されている地球温暖

す。私ども全国町村会をはじめ地方六団 閣では、経済対策と並んで、「地域主権 を重要な政策として位置づけておりま さて、さる九月十七日に発足した菅内 内閣改造後に開催された「国と地

> 改革の第一歩を踏み出すための地域主権 行財政上の課題について意見を申し述べ 付税の必要額の確保など、当面する地方 関連三法案の早期成立をはじめ、 方の協議の場」におきまして、地域主権 、地方交

御礼申し上げます。また全国の町村長の は公務ご多端の折、ご臨席を賜り、厚く 川内閣官房副長官をはじめ、来賓各位に たしましたところ、内閣総理大臣代理古

本日ここに、全国町村長大会を開催い

皆様方には、遠路ご参集をいただき、心

てきました。

て参りたいと思います。 形で成果をあげるよう改めて強く主張し 実で実効ある施策を展開し、目に見える で我々が主張してきたことについて、 とも町村の立場から政府に対し、これま な地方の復活」はあり得ず、私は、 なくして、「元気な日本の復活」、「元気 力強く生き生きとした農山漁村の存在

れましたが、地方の自主性の高いものと 成二十四年度から実施するとの案が示さ の復元・増額が必要であります。 化が不可欠であり、何よりもまず、三位 進めていくためには、その財政基盤の強 体改革で大幅に削減された地方交付税 国庫補助・負担金の一括交付金化につ 町村が自主的・主体的な地域づくりを 都道府県が先行し、 市町村は平

化対策税については、地方の財政支出の 非とも必要です。例えば、「全国森林環 実態を踏まえた一定の地方税財源化が是 森林の整備・保全など

境税」を創設し、



町

すべきであると考えます。 一酸化炭素吸収源対策にも使えるように

で実施するよう求めます。 地方への負担転嫁をせず、 す。来年度以降の制度設計にあたっては 次に、子ども手当について申し上げま 全額国庫負扣

ります。 続可能性の確保が喫緊の課題となってお などの社会保障分野においては、 その持

各種福祉施策を実施してきています。 私たち町村は、 政府には、 知恵を絞り、工夫を凝らしながら 常に住民福祉の向上に

しました。 開始する」との基本方針を閣議決定いた 菅首相は環太平洋経済連携協定(TPP) 、の参加を検討する旨を唐突に表明さ その後政府は、 今臨時国会の所信表明演説で、 「関係国との協議を

壊させる恐れがあります。このため、全 行ったところでありますが、本日、 国町村会は去る十月二十九日にTPPへ 参加検討の撤回を求める緊急決議を決 TPPは、 農山漁村だけでなく、国の根幹を崩 関係方面に対し、 例外なく関税を撤廃するた 強く要請活動を 改め

高齢者医療制度や介護保険制度

国民の幅広い理解と納得を

度を確立するよう求めます。

きますよう、ご参集の皆様方の格別なご協

本大会が所期の成果を収めることがで

力をお願いして、

私の挨拶と致します。

ともに、国民の命を支える生命産業であ てTPPに関する特別決議について、ご 力を傾けております。 り、私たちはその振興に向けて、日夜全 農林水産業は、町村の基幹産業であると 審議していただくこととしております。

国家百年の計ではないでしょうか。 略を描くことであります。これこそ正に がえのない役割を果たしております。 力の源泉である農山漁村を再生させる戦 力強い農林水産業を確立し、この国の活 人々の心を癒して、温もりを与えるかけ 今、政府に求められているのは、 また、農山漁村は、伝統や文化を育み

図っていかなければなりません。 てまちづくりを進め、町村自治の確立を 割を果たしていくとともに、地域の個件 を最大限に発揮しながら、住民と協働し そのためにも、 私たち町村は、今後とも課せられた役 全国町村会の発信力を

提言を行うなど、 ではありませんか。 強固なものとし、さらに頑張っていこう 渡していくために、皆さん、連携を一層 きるよう諸改革を進めて参る決意です。 明るい希望を持って次世代にバトンを 喫緊の課題や情勢に対応した政策 独自の存在感を発揮で

地域主権改革の推進に確たる道筋を



内閣総理大臣代理) || **元** 人 当 内閣官房副長官

することとします。

化」に関連する施策も数多く盛り込ま や、地方交付税の増額などの「地域活件 対策として、地域活性化交付金の創設 高・デフレ対応のための緊急総合経済 兆円規模の平成22年度補正予算が成立 したことを皆様に報告いたします。円

また、日頃から地域社会の発展に尽力 されますことをお慶び申し上げます。 しておられる皆様に対し、心より敬意 全国町村長大会がかくも盛大に開催

> に全力を挙げて取り組んでまいります。 れています。今後、これらの措置の執行

まず始めに、先月20日に総額5・1 移管を可能とするための法制度整備を 国の出先機関のブロック単位での地方 強の一括交付金にする方針です。また. 都道府県分・市町村分あわせて一兆四 けた大きな一歩を踏み出します。 見を踏まえ、地域主権改革の実施に向 方六団体の代表の皆様から伺った御意 の場」において藤原町村会長を始め地 転換する改革です。「国と地方の協議 から脱却し、この国のあり方を大きく 権改革」は、明治以来の中央集権体質 つに位置付けて進めている「地域主 まず、すべての省庁の投資補助金を 現在、私の内閣が最重要政策課題の

げます。 御理解と御協力を心からお願い申し上 作業に取り掛かるよう指示しました。 これまでにも増して、町村長の皆様の をつけることがこの内閣の使命です。 し、片山大臣と協力し、早急に具体化の 地域主権改革の推進に、 年末に最終的な決定を得られるよ 先日、改めて私から関係閣僚に対 確たる道筋

私の挨拶とさせていただきます。 席の皆様の御健勝を祈念いたしまして 向けた全国町村の活性化と、本日御出 結びにあたり、元気な地域社会創造に

7 平成22年12月13日 町 村 週 報 (第三種郵便物認可) 第2742号





第2742号

来賓あいさつ

基礎自治体への権限移譲を進める



衆議院議長

横 路路 孝

政状況に加えて、やらなければいけない仕事は減 0から1、 別措置法を改正いたしまして、執行期限を延長す 方交付税が大幅にカットされるなど大変厳しい財 あります。 るとともに、特別措置の内容を充実したところで 000に減少し、三位一体の改革で地 しかしこの10年で町村の数は2、50

> それぞれの地域で提供しなければなりませんか 少するどころか増えるばかりであります。 大変なご苦労も多いように思えます。 介護などのあらゆるサービスを また保

過疎

地域に指定されている町村は全国941町村のう

議員立法によりまして、過疎地域自立促進特 半数以上になっております。国会では本年3

ておられる皆さんに心から敬意を表します。 現在、この著しい人口減少によりまして、

はじめに、日頃から町村行政の陣頭指揮を執っ

まして、この改革を通じて市と町村の間で差をつ いという思いでおります。 責任で決める事が出来るようにしなければいけな 自ら住む地域のことは、 けることなく、町村の意見を十分に踏まえながら 本年6月には地域主権戦略会議が閣議決定され 地域住民が自らの判断と

役割を果たしております。 ている所でございます。そして安全な食料の提供 みんなが助け合いながら生きていく情緒が根付い ですが―会社に入って共に仕事をしていた―そう 地縁も血縁も、そして最近は〝社縁〟と言うそう を支え、また人々の心の拠り所となるなど重要な やあるいは自然環境の保全を通じて国民の食生活 ます。しかし、町村の多くは農山漁村地域にあり いうご縁という事ですが、それも希薄になってい 最近「無縁社会」ということが問題になりまし NHKでも随分報道されました。都会では

います。 て参りたいと決意を新たにしているところでござ づくりに全力を尽くすことが出来るよう、努力し がひとりひとりの住民に心を配り、魅力ある地域 残念でございますが、 括交付金化も具体的に進めて、町村長の皆さん 本大会の成功と皆様の一層のご活躍をお祈りい いまだ地域主権関連三法案が成立しないことは 基礎自治体への権限移譲と

たしましてお祝いの挨拶といたします。

地域のコミュニティ再生が課題



参議院議長

西岡

武 夫

います。 改めて深く敬意を表する次第でござ皆様方の日頃からの御苦労に対し、日夜御尽力をいただいております。

するためには、国土の多彩な姿に見個性溢れる豊かな地域社会を実現

いたします。

心より祈念申し上げまして、祝辞と

が不可欠です。 策を自主的・自立的に展開することれの地域の特性や資源をいかした施合った多様な基礎自治体が、それぞ

たり、

参議院を代表して、

一言お祝

全国町村長大会が開催されるに当

いの言葉を申し上げます。

本日御列席の皆様は、

地域住民の

において、行政の最高責任者として、生活に最も身近な自治体である町村

可欠であります。 のたいる一方で、少子高齢化や人口 は、地域住民の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の となっている全国の町村が、本来の

について、政府が充分な手当てをしいと存じます。 と受け止め、地域におけるコミュリと受け止め、地域におけるコミュリと受け止め、地域におけるコミュいましましても、皆様の御議論をしっかについて、政府が充分な手当でをしたがあると、全力を傾けてまいりた。

全国町村会のますますの御発展をさいますよう念願いたします。向上に向けて、より一層御尽力くだいれる地域社会の創造と住民福祉の皆様方におかれましても、魅力あ

町村現場の実態を踏まえた改革を



民主党幹事長代理

枝野 幸 男

だ地域主権改革関連三法案を国会で審議いただい の設置や義務付け・枠付けの見直し等を盛り込ん 税交付金を増額したほか、 て取り組んでいるところでございます。 域主権改革の実現に向け、政府・民主党 さて、民主党は地域主権改革を一丁目一番地の 政権交代を成し遂げました。この地 「国と地方の協議の場」 地方交付

たれておられる町村長の皆さんにこの場をお借り 本日ここに全国町村長大会が盛大に開催されま 緑豊かな風土を支え、その先頭に立 民主党を代表して心よりお祝いを申 伝統のある地域 り組んで参りたいと決意しているところでござい 場の皆さんのご理解を得るために全力を挙げて取 止めながら、 成立を強く要望されていることをしっかりと受け ております。地方団体の皆さんからこの三法案の 今後とも早期の法案成立に向けて、 与野党間で修正協議を行っておりま

社会を支え、

また日本の農林水産業を支え、

して心より敬意を表する次第でございます。

の基盤整備の充実等を提言をしております。 町や村に多い条件不利地域等に十分配慮し、 政府の当面の課題である一括交付金化と地方出先 整備が進んでいない自治体や財政力の弱い自治体 括交付金については先般提言を取りまとめ、 機関改革にテーマを絞って検討を進めており、 く対応できるような算定方法の工夫や、インフラ 大臣にお渡しをしております。特に一括交付金は、 また、政府の地域主権改革の取り組みを後押し 地域主権調査会を設置いたしました。

努力をしているところでございます。さらには 自主性・創意工夫が生きるようにしていきたいと となって一括交付金化を進め、それぞれの町村の 力で取り組んで参る決意でございます。 過疎対策の法案を延長するなど、過疎対策にも全 の抵抗をはねのけ、政治主導で政府・民主党一体 こうした地域ごとの事情を十分踏まえ、霞ヶ関

ての挨拶とさせていただきます。 することを祈念申し上げまして、 りと地域主権改革を進めていくことを申し上げ、 そして町村長の皆様方の声を踏まえながらしっか が多々あるかと思いますが、それぞれの地域の事 本日の大会が成功し、 まだまだ行き届かないところ、不十分なところ 特に町村の実態や事情というものを踏まえ、 それぞれの町村が更に発展 民主党代表とし

真の地方分権改革実現に力を注ぐ



谷

自由民主党総裁

ておりますことをこの場をお借りしまして心から 日頃から自由民主党に温かいご配慮をいただい

るのではないかと考えております。

は脆くも崩れ去り、危惧は現実のものとなってい

果たしております。 風景を守っているのも皆様の地域でございます。 環境維持や食料の生産など、極めて重要な役割を 町村は国土の半分近くを占めており、治山治水、 また伝統的な文化や日本の原

ガラガラ が損 思います。 確保はしっかりとやらなければなりません。 然でございます。そのためにも地方交付税の総額 気になることも出来ないと思います。 抱えている町村が元気にならなければ、 雇用対策のための安定した財源が必要なことは当 括交付金についても財政力の弱い町村に十分

である決議、あるいは特別決議を拝見いたしまし 安全のためには避けて通れない事だと思います。 私どもはこの交付金をなんとしても1兆5、00 地方経済を活性化し、疲弊した地方を救うために、 性化交付金は3、500億円に留まっております。 おります。 何かということです。町村長の皆様のご意見を伺 真の地方分権を実現していくために必要な改革は ましたが、残念ながら実現出来ませんでした。 0億円上積みをしなければならないと訴えて参り 配慮した制度設計をすることが何よりも必要だと いと思っております。その観点から鑑みますと、コ ことを常に念頭に置きながら改革を進めて参りた いながら、何のため、誰のための地方分権かという ンクリートが人を守るというような視点も、 これからの町村にとって何よりも大事なことは、 本日は皆様方のふるさと再生のための決意表明 真摯に受け止めさせていただきたいと考えて 今回、政府の補正予算において地域活

私のお祝いの挨拶とさせていただきます。 展されますことを心からお祈り申し上げまして もに真の地方分権の実現のために力を注いで参り 私どもも党の総力を挙げて町村長の皆さんとと 皆様方の町村が益々発

打撃を受けるのではないかと心配しておりまし も皆様の地域であろうと思っております。 そして都市住民の生活の安心安全を支えているの 無視して補正予算の執行停止をされたことなど 私ども自由民主党は、 現在国民の多くが期待した民主党政権の幻想 大事なふるさとである町村が経済的に大きな 地方議会の議決を

団体自治から住民自治への移行を



総務大臣代理総務副大臣

鈴木 克昌

に考えているところでございます。を強力に推進するということを真剣片山大臣を中心に真の地域主権改革と考えております。私たちは現在、るのかを皆様にお聞きいただきたい

本日はいま総務省が何を考えてい

だいております。いう思いで毎日の作業をさせていたいう思いで毎日の作業をさせていた期待を裏切ってしまうことになると来なければ、国民の皆さんの大きなそしてこのことがしっかりと実現出

そして私どもは片山大臣を中心

先月26日に予算が成立をいたしまし 合った使い方をしていただきたいと 使い勝手の良いお金として、現場に いますが、地域の皆さんに少しでも 手の問題等、色々あるわけではござ いう思いで取り組んでいることを第 させなければ、明日の日本はないと ものであります。そしてこれを成功 地域主権改革は今までのわが国の地 す。いずれにいたしましても、この 議論を進めている最中でございま べきであるかという方向で、真剣に にいかにしてスムースに変えていく たので、ぜひご理解をいただきたい す。これも確かに額の問題・使い勝 いう思いでおります。おかげさまで 万自治の流れを変えていこうという 点目に申し上げたいと思います。 第二点目は、補正予算でございま いわゆる団体自治から住民自治

聴ありがとうございます。 をさせていただきます。本日はご静とさせていただきます。そして最後に繰りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々な課題に取りは、地域に関わる様々ないます。

結束を強固にして難局を乗り越える



全国町村議会議長会会長

政の中枢にあって、 に心から敬意と感謝を申し上げる次第です。 本日ご出席の町村長の皆様には、 献身的なご努力を傾けておられますこと 、急激な円高や株価の下落、デフレの進 住民福祉の向上と地域の発展 平素、 対行

済も厳しい状況が続いております。町村において 行等により、国民生活は深刻な影響を受け、地域経

行政サービス面において地域間格差が拡大すると 合い、支え合っていくことが肝要であり、 いていくためには、 以前にも増して難しい舵取りを迫られています。 こうした状況を打開し、 「平成の大合併」が一段落したものの、 高齢化・人口減少などの諸問題に直面し、 国と地方がそれぞれ力を出し 地方が明るい展望を拓 財政面、 国は国

> ことは地方に任せるべきであると思います。 家存立及び国家戦略に係る役割に専念し、 全国の町村の声に真摯に耳を傾 地方の

に期待しております。 また、国は来年度の予算の編成に向け、

た地域主権改革を徹底して実行されることを大い け、町村を元気づけ、活性化させるための思い切っ

の充実強化が図られるよう期待しております。 地方財政に対する正しい認識のもとに、地方財源 確保を図ることが不可欠であります。是非とも、 地方交付税の復元・増額と併せ、一般財源の充実 める一方、大都市への税財源の一極集中を是正し、 と偏在性の少ない安定的な地方税体系の構築を進 主体的な地域づくりを進めるためには、税源移譲 を迎えているところでありますが、町村が自主的

越えて参りたいと考えております。 様方との結束をより強固にして、この難局を乗り は一つであります。「町村が元気になることこそ の違いはございますが、町村の振興発展を願う心 政にしっかり反映されることを願ってやみません。 様方全員の力の結集により、全国町村会の声が国 持ち、新しいまちづくりに日夜精励されている藤 ります。郷土 川上村に無限の愛着と高き誇りを 原会長の強いリーダーシップと本日お集まりの皆 をさせていただき、そのお人柄もよく存じ上げてお 二元代表制の下、「議会」と「長」という立場 私は藤原会長とは同郷であり、長いお付き合い 国が元気になることだ」との信念のもと、

の祝辞とさせていただきます。 とご参集の皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、 これからの町村のために、 全国町村会のさらなるご発展 共に頑張って参りま

サンゼルスオリンピック、2006年のトリ

存知であることと思います。1984年の口 ン・レノンの代表曲である「イマジン」をご

私は、

村

町

ついて』意見を述べたいと思います。

1971年に発表されたビートルズのジョ

ります。

えた恒久平和の実現に向けて努力を続けてお

を越え、

14

意 発 表

玉 おける ての地位確立を



佐々木

功

悦

人種を越え、考え方の相違を乗り越 宮城県美里町長

際法上の国家の要件が欠缺しているというこ とになります。 ある以上、対外的に独立していなければなら 国家は互いに平等であり、また近代国家で 逆に対外的に独立していない場合は、 玉

らイマジンの「世界がひとつになって欲しい」

億回聞かれていることでしょうか。残念なが

ろであります。

との願いは約40年を経てもなお届いていない

平和を訴えたこの曲、全世界ではすでに何千

ん」で始まるこの曲が流れ、世界中の人々に / オリンピックの開会式でも「想像してごら

声は日を追うごとに厳しくなってきており

ありますが、最近の外交姿勢に対する国民の

ち、国民・住民の安心・安全のため、さまざ まな政策課題に日夜取り組んでいるところで

また我々町村長は、常に行政の最前線に立

我々としても大変危惧の念を抱いているとこ

第2742号

のが現実であります。

私は日本非核宣言自治体協議会の幹事とし

国家主権については、いろいろな考え方が

いう自治体としての原点に立ちながら、国境 て、住民一人ひとりの生命と暮らしを守ると

> ことを内容とする概念」と考えられます。 力であるとともに、外部の力にも従属しない あるものの、概ね「国家が国内的に最高の権

ものであります。 絶対不可侵のものであり、 ては、いかなる他国の干渉、侵略に対しても により当然管理されるべきものと考えられる したがって、主権国家における領土につい 自国の法規・規範

堵したことです。 的立場を明確に伝え、尖閣諸島の地位を明瞭 中国の胡錦濤国家主席との会談の中で「尖閣 領土を訪問したことに対する政府の対応等を 応、また、先月1日にロシアの大統領が北方 に示した対応に多くの国民が評価し、 領土問題は存在しない」との日本政府の基本 諸島は我が国固有の領土であり、この地域に れたことは11月13日に行われた菅直人首相と 交・領土問題に対する意識と対応に疑問を抱 見ましたとき、残念ながら我が国の政府の外 とその後に発生した諸問題に対する政府の対 海上保安庁の巡視船と中国漁船との衝突事件 かずにはいられません。しかしその後、救わ しかるに、先般沖縄県尖閣諸島で発生した 少し安

声高に主張して参りました。 占拠であることは明らかであり、 ては、第2次世界大戦末期に行われた不当な に表明して参りました。特に北方領土につい が国固有の領土であることを、一貫して明確 が国は国際社会のあらゆる場において、領有 の歴史的事実及び国際法の基準に基づき、 これまで、いずれの領有権についても、 早期返還を 我

るように思われてなりません。 円満に納めようとする柔軟路線に終始してい しかしながら、現在の外交政策は、ことを

で一杯です。 陥ることとなるのではないかと忸怩たる思い 国際社会に与え、国益を大きく損なう状況に ば最後には譲歩する国であるとのイメージを 結果として我が国は、圧力さえ加えられれ

> 対しては、独立国家はいかなる場合において るものと信じてやまないものであります。 諸国との真の対等・互恵的な関係を構築でき ります。そしてその行為の結果として、近隣 を守り抜くことは出来ないものと確信してお のであり、それなくしては固有の領土、 も毅然とした外交姿勢を貫かねばならないも 本来、領土問題と国家主権に関わる事態に 国民

散華された、幾万の諸霊の犠牲があったこと は、国を、同朋を守るため、自らを盾として の平和、国際社会での確固たる地位の確立に め、沖縄県を訪問いたしました。現在の日本 に思いをいたしました。 先日、私は宮城県戦没者の慰霊祭参加のた

て確固たる姿勢を示し、これらが我が国固有 うするのか、心配でなりません。 ではないでしょうか。果たしてその様な状況 を想定し、それに備え、それを回避すること 必要と考えます。危機管理とは、最悪の事態 強化するなど、遺漏なく万全を期することが た、我が国の危機管理の在り方については、 くべきであると考えるところであります。ま て理解を得られるよう、今後とも尽力してい 諸外国に発信するとともに、国際社会におい の領土であるという毅然たる態度を堅持し、 そ、平和を希求する独立国家、主権国家とし になっているのか、同じ事件が再発したらど その根本から見直し、国境の監視警備体制を このような経験を踏んだ我が国だからこ

えるものであります。 いては、これを最優先で図るべきであると考 固有の天然資源・海洋資源の保全・確保につ 特に、漁業者の安全操業の確保と、我が国

強く期待いたしまして、私の意見発表を終わ ります。 て、内外に確固たる地位を確立されることを 戻して欲しい、これが国民の切なる願いです。 我が国が、国際社会における主権国家とし 日本という国、日本人としての誇りを取り

町 村 週 報 平成22年12月13日 15 (第三種郵便物認可) 第2742号



塚

岐阜県八百津町長

る最悪の事態となりました。 集中豪雨により、一家3名の尊い命が奪われ いただきます 今年の夏、7月15日に当町を襲ったゲリラ 私からは災害についての意見発表をさせて

最高8㎜を記録し、総雨量は254㎜にも達 本部を設置し、避難所も6カ所開設して有事 に備えておりました。 しました。私どもは直ちに17時42分には対策 当日は16時頃から雨が降り始め、1時間に

告を発令し、全戸に置いてある防災無線(戸 を施しましたが、残念ながら被害を回避する 別器)と広報車、更には携帯電話でのコミュ に至りませんでした。 一ケーション支援システムで住民に周知徹底 19時40分には、今回の災害地域にも避難勧 ます。

に被災者の救出に全力を挙げ、地元消防団、 災害発生後は、私が陣頭指揮を執り、直ち

> 3名が遺体となって発見されました。 の方々には、全身泥にまみれながら手作業で 警察、消防署、自衛隊等、不眠不休の捜索に に阻まれ、捜索は難航しました。特に自衛隊 捜索をしていただきましたが、24時間後には あたりましたが、立ちはだかる倒木や土石流

四点ほどの提言をさせていただきたいと思い 7億2、400万円に及びました。県下の被 独合わせて283カ所にのぼり、被害総額は 害総額は52億円に上ると聞いております。 今回の災害を経験いたしまして、 被害は全町にわたり、災害箇所は公共・単 私からは

ています。国は別の補助制度で財政力の弱い 上る災害でなければ激甚災害ではないと伺っ り、今回一部で激甚指定を受けましたが、激甚 災害には特定の災害額の枠、1、500億円に まず一点目は、国の激甚災害の緩和策によ

> 来る限りの協力をさせていただきましたけれ おいても考えて頂きたいと今回の災害を通じ ども、何らかの救済措置・具体策を国や県に 土砂等の除去・撤去費等には、私ども町も出 て強く感じております。 二点目として、一般家庭周辺に押し寄せた

県で、死者・行方不明者含め20名、また7 今年は我が八百津町以外にも全国各地で8都 おるわけでございます。 きましても全域で甚大なる被害をもたらして になったと聞いておりますし、奄美大島にお を襲った豪雨災害でも3名の方がお亡くなり 000棟強が床上・床下浸水など多くの被害 が見られたところです。特に10月の奄美地方 三点目として、東海豪雨から10年が経過し

新善

庁とも連携を取っていただければ、更なる精 では予想が出来ないという結果でした。気象 この雲や雨が今後どうなるかというところま です。ただし私が見させていただいたところ、 雲の動きや雨の動きがはっきりと分かるもの Pレーダー11基が、3大都市圏を中心に新設 く思っております。 度の高いレーダーが出来るのではないかと強 おります。これは250メートルメッシュで、 され試験運用と配信が始まっていると聞いて 通省では高精度の豪雨を監視するXバンドM こういった豪雨を感知するために、国土交

バーをお願いしたいところです。 使いたいと思いますので、ぜひ全国的な力 勧告においてもそれを重要な発動手段として おりますが、特に避難発令や避難指示、避難 また、現在ではこの運用が3地区と聞いて

たけれども、この国道の2車線を使った為 集中豪雨により県道・町道等は寸断されま-8号(よいやおつ)が本年3月末に開通し スも多発します。当町を東西に走る国道41 土や倒木等で主要な生活道が寸断されるケー 四点目として、災害が発生すると、当然崩

自治体の救済を考えて頂きたいと切望します。 地方における道路整備、災害に強い道路の促 孤立化する地域がありませんでした。従って 東海地震・東南海地震等への対策としても重 確保だけに留まらず、今後発生が予測される あります。また幹線道路整備は豪雨時の安全 進は重要であり、今後も強化していく必要が 要な課題であると思っております。

を願っています。 市を結ぶ重要な動脈として、 建設促進や東海環状道路の西ルートの整備促 えると、東海4県で要望している第2東名の が極めて重要であり、 トワーク化の強化、物流、人の交流面等を考 特に山間地を抱える町は、外部との繋がり また東ルートの全4車線化等、 高規格道路によるネッ 一日も早い完成 地方と都

ていますが、この新丸山ダムの本体工事の着 えで、全国84ヶ所ほどのダム建設が進められ も非常に重要な多目的ダムです。近年高まる の生活を守るためにも、また治水等のために 下流域の愛知県を中心とした伊勢湾岸の皆様 ダム直下に新丸山ダムの建設を促進中です。 域を激甚災害が襲いました。そのため現在の ダム機能を超える水が押し寄せ、 目的の丸山ダムが下流域の生活の盾となって 水害のリスクから多くの人命と財産を護るう いますが、昭和58年9月28日の豪雨災害では、 | 上完成が当町の重大課題であります。 最後に、当町は木曽川の中流に位置し、 木曽川中流

国を挙げての対応をお願いしたいと思ってお た豪雨が起こるメカニズムの解明においても ります。 に備え、災害対策の正しい知識を育成し、ま 今後、どこにでも起こりうるゲリラ豪雨等

最小限にとどめることだと思っております。 する対策を身につけることが何よりも被害を 民の方々におかれましても、様々な災害に対 の町村を襲うかも分かりません。そのため、住 何時どのような状況において、災害が皆さん 全国には941の町村がございます。いつ

週

との複合経営を始めたのが昭和30年でした。 ちの地域では初めての酪農に取り組み、水稲

当時は、食糧難の時代であり、乳牛2頭と

水稲1㎏の経営が出来れば、給与所得の人々



足することとなりました。

成12年に中山間地域等直接支払制度として発

森 重 が計

岡山県吉備中央町長

あると常々考えており、 私は、農業が日本の存立基盤に係る課題で その立場から、意見

町

中に占める割合は大変小さい存在です。しか 卒業と同時に農業を継ぎました。「やるから 来ない大きな特質を持っています。 料を生産する産業基盤であるだけでなく、保 護っているという、単に数字で表すことの出 水機能を持った国土そのものを維持管理し、 産基盤は、国土の中に立地し、基本的には食 には新しい農業を」と考え、有志と共に私た し、農業は生命産業であり、加えて、その生 農業を単なる一産業とみると、日本経済の 私は専業農家の長男として生を受け、学校

> どなく、池田内閣の所得倍増計画が発表され、 とほぼ同じくらいの収入でありましたが、 日本経済は飛躍的発展をとげました。 しかし農産物価格は上がらず、他産業従事 ほ

剰となり、減反政策が進められました。 hの専業農家となっておりました。 い中で、食生活の多様化に伴い、 者と肩を並べるためには生産規模拡大しかな 就任した時には、我が家は乳牛50頭、 私が農業に従事し、 40数年が過ぎて町長に 米が生産過 水稲 1

るという厳しい条件を持っております。 は広く、草刈りや水管理に大変な労力が掛か 整備は進んでおりますが、 ばれる地域で、平坦地は少なく、水田の基盤 るのか、これこそが最も大きな課題でした。 いましたが、農業で成り立つ我が町をどうす 我が町は、岡山県の中央部の吉備高原と呼 町長として、 もちろん行政課題は山積して 畦畔の占める面積

> の格差が大きい中山間地をどう支援するの 時の長野岡山県知事の指示により、平坦地と は、平成8年でありましたが、いち早く、当 か、という研究会が設立されました。 我が町と同様に、中山間地の多い岡山県で

ことで、国に進言をされ、それがキッカケと なり、私も専業農家の代表として参加でき、 なり、国において更に整備され、4年後の平 この問題は岡山県だけのことではないという をお迎えし、それぞれの立場の代表が委員に 緒になって真剣に研究を重ねました。 この研究成果を取りまとめた際、知事は 座長には東京大学農学部の今村奈良臣先生

管理されており、大変に喜んでおります。 のもと、農家と相談し、職員も大変な作業を 町土を守るにはこれしかないという強い決意 として、高齢化に配慮した、より取り組みや どの集落で協定を結び、この集落協定への加 よく頑張ってくれまして、今日では、 菅政権におかれては、引き続く第3期対策 /は、全国で5番目であります。農地もよく 私は、この制度発足と同時に、農地を守り ほとん

が唐突にありました。 おいて、TPPへの参加を検討する旨の発言 こうした矢先、今臨時国会での所信表明に 至っております。

すい制度への見直しをしていただき、現在に

もは、日夜眠れないほど心配しております。 充実し、食料自給率を50%にするとの考えを ただけに、不安で一杯であります。 示し、私どもも、大いに期待をしておりまし とする内容でありますから、大変驚き、 このTPPは、例外なき関税の撤廃を原則 農水省の方針では、戸所得補償制度を更に 私

ニュージーランド等、私が視察した体験から されると輸出国のアメリカ、オーストラリア、 仮に、このTPPにより、穀物が自由に輸入

考えてみましても、それらの国々の生産基盤 という歴史的現実もあります。 を創設したために、農地の集積は大変困難だ 令により、小作農制度を解体し、 ても、その中に民家をはじめ種々の建物が多 うまでもなく、都市近郊の平坦な農地であっ 持った農地は別にして、中山間地の水田はい では、到底逆立ちしても太刀打ち出来ません。 の大きさから、日本の土地利用型の農業経営 く点在しているため、到底不可能であります。 模拡大を図ろうとしても、特別な良い条件を 更に、日本は、戦後、昭和22年のGHQ指 また、日本の農地は、作業効率の上がる規

の気候風土に一番適しております。 瑞穂の国といわれるように、米作こそが日本学師のど きであり、日本書紀に遡れば、日本は豊葦原日本人の主食である米は、日本人で作るべ

系さえも瞬く間に崩壊していくのではないで 同体、いや日本という国土が、そして、生態 神や助け合いの心は薄れてしまい、地域の共 盤とする農村にとっては、地域住民の共同精 地となり、農業を通じて成り立ち、農業を基 産物が不採算となり、農地のほとんどは荒廃 自由化の例を振り返るまでもなく、多くの農 しょうか。 もし、自由化となれば、昭和39年の木材の

ましょうか。 かけて作り上げてきた我が民族の優良農地、 すなわち優良な国土を一体誰が守るのであり 我々の先祖が知恵と工夫により長い年月を

まして、この意見発表を締めくくりたいと思 ます。そういう心の底からの強い思いを込め います。 断固反対をしなければならないと考えており れるというような、ゆゆしき政策に対しては、 きた経験、そして、現在は、町政の責任者と 代を専業農家として、一心不乱に取り組んで しての立場を踏まえ、農業がオール自由化さ 以上、私は、 食糧難の戦中戦後の厳しい時

第2742号

有識者からの応援メッセージ

素晴らしい自治の営みを小さいがゆえの



ので、愛に満ち、創造的で、安定しているこのほうが、巨大なそれらよりも、いかに効率でも大変な話題になりました。私も、大学本でも大変な話題になりました。私も、大学本でも大変な話題になりました。私も、大学本でも大変な話題になりました。私も、大学本でも大変な話題になりました。入きすぎることが問題なのです。小さな組織、小さな町のほうが、巨大なそれらよりも、いかに効率のほうが、巨大なそれらよりも、いかに効率のほうが、巨大なそれらよりも、いかに効率のほうが、巨大なそれらよりも、いかに効率のに満ち、創造的で、安に満ち、創造的で、安定していることが問題なのですが、ドイツの経済

が大切なのです。とか、といっています。身の丈に合った規模

でした。でした。でした。

条件の自力救済のきかない都市は滅んでいく気退すれば、一見して堅固にみえながら生存う冊子を公表し、その中で、農山漁村地域がう冊子を公表し、その中で、農山漁村地域が会国町村会は、平成13(2001)年7月、全国町村会は、平成13(2001)年7月、

主張しました。関係にある、そのことを国是にすべきだ、とのではなく、お互いに足らざるを補う共生のしかない、都市と農山漁村は対立関係にある

「平成の合併」は事実上幕引きになりましらです。

加加

今後、町村が存亡に危機に直面するとすれ 今後、町村が存亡に危機に直面するとすれ のですがら、近世に合わないときには、毅然 ですから、町村のモットーは「和して同ぜず」 になるのではないでしょうか。事を運ぶ時、 ですから、町村のモットーは「和して同ぜず」 あるように、これに断固反対していきます。 を運ぶ時、 を選ぶするとされ、 のではないでしょうか。事を運ぶ時、 を選ぶするとされ、 が必ずするとさは、 のではないでしょうか。 事を運ぶ時、 を選ぶ時、 を選びするとすれ

きっていい実績ではないですか。 きっていい実績ではないですか。 を見えの逢坂政務官が町長をされていた二セお見えの逢坂政務官が町長をされていたニセお見えの逢坂政務官が町長をされていたニセお見えの逢坂政務官が町長をされていたニセお見えの逢坂政務官が町長をされていたニセお見えの逢坂政務官が町長をされていたニセお見えの逢坂政務官が町長をされていたニセお見えの逢坂政務官が町長をされていたことでした。自治基本条例の最初は栗山町でしたし、議会基本条例の最初は栗山町でしたし、議会基本条例の最初は栗山町でしたし、議会基本条例の最初は栗山町でしたし、議会基本条例の最初は栗山町ですか。

生する生活の技を開発し、伝統文化をつむいつ、その恵みに感謝する心を育み、それと共は、先ほどのお話に出ていましたように災害思うようにはコントロールできない大自然思うようにはコントロールできない大自然思うようにはコントロールできない大自然思うようにはコントロールできない大自然をする生活の技を開発し、伝統文化をつむい

天生の 日本の国土は、 にある できたことです。

日本の国土は、大きな水の循環のなかにあります。天水が森林に降り注ぎます。それが湧きでて、田畑を潤し、川となり、水生生物を育み、まちを、都市を流れ、海にそそぎ、海育み、まちを、都市を流れ、海にそそぎ、海湾生物を育む。この水の循環の要は森林と田畑です。これを守り通さなければ、日本列島は滅びるのです。

思っています。 自然の営みを実感させなければならないと 合計3カ月間は、農山漁村で暮らし、この大

私は、東京生まれの東京育ちです。その非人ですね。

平均寿命が50歳の時、「人生七十古来稀なり」といっていました。すでに、「人生七十古希を迎えましたが、元気です。研究者とし古希を迎えましたが、元気です。研究者とし古希を迎えましたが、元気です。研究者としたがらです。魅力的な町村長、議員、職員、住からです。魅力的な町村長、議員、職員、住からです。魅力的な町村長、議員、職員、住からです。魅力的な町村長、議員、職員、住からです。大り」といっていました。すでに、「人生七十古来稀なり」といっていました。すでに、「人生七十古来稀なり」といっていました。

ありがとうございました。という気構えでがんばってまいりましょう。すが、愚痴などこぼさず、「田舎が都会を救う」みなさん、幾重もの困難が待ち受けていま

平

畄

総

正

群

馬 \mathbb{H} 森

北

海道

渕 沼 村

優

畄 部

東

北

Ш 木

秋

比

例

宮

光

英

坂

洋 寛 介 子 明 博

Ш 富

泉

田

公

野 梨 Ш 葉

吉 吉 山 金 Ш 武

正 秀 和 勝 達

芳 男 之 年 丸 勤

越

あか

大

家 本

福

清

宮

城

下

島

根

夫

南関東

澤 破 階 谷

亮

正

三宅 額賀福-

雪

子

茂

鳥 和 大

取

志郎

愛

媛

町

鳩山由紀

숲

子

恭

之

吉

田

統

彦

太

郎

玉城デニー

沖

縄

逢

坂

村

康

浩

愛 長

知

和

未

村

誠

吾

政 敏 順

安 橋

田

島 根 﨑 腰

成

Ш

浩

北関

崎 山

稔

佐

賀

太

 \blacksquare 住 本

和

美 淳 仁

福

島

加

藤

勝 赳

信 夫

11

興 未 和

起

沼

Ш

柿 志

沢 位

途

東

京

全 围 町 村 長大会来 寳 氏 名

39名 来質の方々のお名前は次のとおりです 等を除く) 議員は209名 国 、代理出席者は119名=衆議院議員88名・ 村長 の方々が来賓としてご出席下さいました。 大会には、 (本人出席者98名= 次の国会議員 衆議院議員51名・ (来賓挨拶をされた大臣 参議院議員39名)。 (敬称略 衆 · 参議院議員 ・順不同 参両院

出

佐々木隆博 (小選挙区) 衆議院議員 務副大臣 誠二 秀 夫 席者 北海道 (51 名) 坂 中 空 吉 古 Щ 高 野瀬良太郎 本 賀 本 谷 井 本 Ш 哲 敬 有 美 誠 政 志 章 穂 喜 重 元 熊 高 奈 福 徳 広 出 知 島 島 良 本 藤 橋 小 長 北 金 小池百合子 島 村 野 田 林 子 本 大 正 忠 茂 智 健 枝 美 男 彦 助 勉 南 東 関 信越 海 京 東

山 石 河 谷 高 大 西 村 田 井 市 雅 俊 祝 克 公 早 孝 弘 苗 典 稔 九 几 中 近 州 国国

辻 元 清 美 大 阪 塩 Ш 鉄 也 北 関 東

畿 二之湯 青 世 末 姫井由美子 松 Ш 西 谷 木 耕 祐 智 信 弘 信 政 成 介 司 夫 彦 介 智 人 徳 Щ 尚 島 和 兵 京 愛 島 \Box Ш 根 Ш 庫 都 知 **⊞**J 吉 Ш 衆

(議院議)

員

三ツ矢憲生

三

80名

北

神

圭

京

都 重 (参議院) 議 員

谷 森 岩 城 博 光 宏 之 英 栃 福 Щ 39 名 木 島 形

松

下 山

外 松 福

> 村 畄

辺 林 田 泉 猛 健 博 昭 之 男 太 美 岐 神 長 奈川

> 宇 荒

都 木

隆

史 寛 \Box

昌

埼

玉

島尻安伊子

清

比

例 縄 野

村

哲

郎

加治屋義人

鹿

児島

上野 髙階 柴 小 \blacksquare 熊 恵美子 ひろし 慎 巧 司

岩 渡 若 吉 小 関

井

茂

静

出 阜

牧野たか

お 樹

田 下 忠 芳 智 生

理 出 席者

佐藤ゆ

アうこ

愛 静

知 尚

Ш

展

34

野

#

松木けんこう 江 (小選挙区 渡 村 聡 信 孝 北 青 海道 森 石

俊

博 啓 朗

歌山

高 佐

野

守

阪

新 祥 資 平 斎 史 麿 宮 熊 佐 崎 本 賀 梶 五十嵐文彦 村 \blacksquare Ш 喜四 康 弘 夫 郎 志 埼 茨 馬 玉 城 村上 玉木雄 大 岸

野

功

誠

郎

愛

媛

"

福

岡

 \blacksquare

文

雄

島

郎 統

> 香 広

Ш

棚 菊田真紀子 田中けいしゅう 谷田川 金 羽 髙 上 Ш 子 橋 \blacksquare 木 慶 洋 信 泰 介 義 文 毅 郎 治 元 孜 岐 新 神 東 千 長 福 富 奈川 井 潟 阜 野 Ш 京 宮 保 武 小 松 徳 溒 Ш 麻 村秀三 \blacksquare 里 下 \blacksquare \blacksquare 島 利 生 本 太 公 泰 忠 博 大 耕 良 郎 之 郎 典 輔 太

> 崎 賀

宮 熊 長 佐

下 比 地 例 幹 郎 弘 洋 毅 鹿児島 沖 縄

津 田名部匡代 島 恭 東 北

中野渡詔子 藤 勉 北関東

Ш 長谷川 伊 Ш Ш 野 ф 道休誠 古 岩 村 花 ф 西 玉 谷 熊 \blacksquare 大 今 若 松 長 衛藤征士郎 網 石 (参議院議 賀 崎 島 屋 咲 置 井 達 本 本 \blacksquare 屋 \blacksquare JII 畑 谷 \blacksquare 村 泉 宮 勢 忠 幸 剛 隆 宏 貞 憲 善 征 甚 信 吉 秀 公 真 雅 博 成 Ξ 郎 듄 正 毅 利 毅 介 隆 基 直 義 良 孝 俊 敏 久 德 Ξ 勲 遠 力 員 北海道 北陸信越 青 (39 名) 州 森 玉 羽田 金子原 長谷川 鶴 谷 鈴 藤 松 出 野上浩太郎 塚 丸 愛 赤 広 磯 宮 Ш Ш 古 大 Ш 中曽根弘文 出 金 石 野 \blacksquare 﨑 沢 JII 木 井 崎 村 \blacksquare \blacksquare Ш Ш 本 野 \blacksquare 子 子 井 石 上 保 知 雄 洋 政 孝 正 珠 俊 通 輝 清 仁 義 庸 秀 龍 直 元 恵 浩 治 大紋 郎 代 太 子 美 彦 博 介 善 男 郎 昭 樹 郎 治 裕 広 彦 美 郎 郎 群 比 長 香 広 鳥 和 大 愛 岐 長 福 富 新 東 埼 栃 茨 福 秋 宮 高 石 歌 Ш 島 取 阪 阜 野 井 潟 馬 城 崎 知 知 Ш Ш 京 玉 木 島 田 城 山 片山 橋 松 松 藤 ф 下 小 奥 ф ф 寺 自見庄三 片山さつき 市 水 岩 吉田おさむ 柚 本村賢太郎 小 漆 石 (参議院議員 |祝電メッセ (衆議院議員) 井 井啓一 戸 本 木 塚 坂 原 \blacksquare 本 本 村 条 泉 村 JII Ш 村 \blacksquare \blacksquare 虎之助 康 み 淳 憲 将 公 聖 道 龍 展 良 恭 博 典 忠 史 太 子 彦 義 つ 司 也 夫 子 彦 城 郎 次 司 宏 義 純 修 比

11 11 11

例

